

公立保育園と民間保育園の役割（案）

1 前提

認可保育所は、児童福祉法第35条に基づく児童福祉施設であり、公立・私立ともに国の定める基準を満たして設置され、保育内容についても厚生労働省が定める保育所保育指針に準拠していることから、園独自の取組に若干の違いはあるものの保育内容について大きな違いは見られない。

その上で、市が現時点で考える公立保育園の役割と私立保育園に期待する役割は以下のとおりである。

2 公立保育園の役割

(1) 行政機関としての役割

- ① 公立保育所は、市保育行政の方向性に沿った保育を提供する。
- ② 公立保育所は、庁内各課、他の行政機関との連携が比較的容易であることから、児童虐待の早期発見、要保護児童などの支援について、迅速な対応が可能である。また、増加傾向にある心身の発達において特別な配慮が必要な子ども、アレルギーを持つ子どもについても、公立保育所が積極的に受け入れ対応する。

(2) 地域子育て支援の拠点としての役割

- ① 公立保育所の特長を活かし、民間保育所、認可外保育施設等との連携を図り、地域における子育て支援の中核的な機能を果たす。
- ② 在宅の子育て家庭への支援として、一時保育、緊急保育の充実を図る。
- ③ 認証保育所、保育室、家庭福祉員その他の子育て支援関係団体とのネットワークの構築を推進していく。
- ④ 公立保育所の職員は、市職員として保育行政に携わり、保育需要や課題に積極的に取り組む。

(3) 保育施設の拠点としての役割

- ① 大規模災害の発生時には、小金井市災害対策本部と連携し保育を継続する。また、公立保育所職員は、市職員として災害対策の活動を行う。
- ② 公立保育所は、情報交換等を通じ民間保育所等との連携を図るとともに、人

材育成を積極的に行う。

3 民間保育園に期待する役割

(1) 待機児童の解消

保育を必要とする子育て家庭に、必要な保育サービスを提供するため、待機児童解消に向けて、特定教育・保育施設の整備を拡充する際、民間活力の導入（民間保育園の新設）を基本とすること。

(2) 多様な保育ニーズへの対応

休日勤務、深夜業務への従事、超過勤務など、保護者の就労形態が多様化しており、休日保育、延長保育の充実が求められていることから、民間事業者の柔軟性、機動性を活かし、休日保育・延長保育の更なる延長を実施すること。

(3) 地域子育て支援機能の充実

民間保育園では、これまでも保育所体験や育児講座、園庭開放、出前保育など様々な地域活動事業の取組を進めてきました。今後も引き続き民間保育園の特長を活かし、地域の子育て支援機能の一層の充実を図られること。